

農園便り 9

月号 (103号)

文責 筒口 典康

(2021/09/01)

「ネズミ防止ネット」で検索しますと商品が出てきました。「銅メッシュ」でも探せます。画面からでは今一つ内容が解らないので「オザキフラワーセンター」でも探しました。オザキには置いてない。

「ヒムロット・シードレス」のブドウは食べつくされてしまいました。「藤稔」…巨峰系は、粒が大きいせいかわ健在です。鼠除け銅メッシュを手に入りたい。

8/20 「やさしい畑」編集部の竹村さんから電話をいただく。

8月号以降の菜園の様子をお尋ねでした。スイカは今年も失敗かと思いましたが、3つ、美味しくいただきました。トマトの雨除けは良く出来たのですが、何と、アピオス、ヤマノイモ、モロッコインゲンでジャングル化。スイカも這い登る始末。で、… トマト列の光線不足で失敗。トマトは、「水」「光」「土=養分」…が大切です。日光不足は致命的でした。



8/8 トマトの雨除けに蔓る物が這い上がる

8/17 北入り口 オカワカメ 食用菊

パパイヤが大きくなってきました。花芽はまだついていませんが、1m50cm程の高さになりました。パパイヤは未熟状態の果実が、煮物として使えるとの事で、3株植えてみました。全く元気元気な植物で、病虫害を寄せ付けない。

熱帯植物パパイヤは、冬になると枯れてしまいますので、ミニ温室に取り込みます。それで、鉢植えにして畝に埋めています。

スリッドのついているプラ鉢と、不織布の鉢で比較できるように植えています。スリッド鉢は根が鉢の外に出ていきます。布の鉢は鉢内に留まるものと想定します。越冬するために掘り上げる時の根のダメージを比べてみます。

パパイヤは水切れに弱いようでありませす。1月の越冬中に水切れ。慌てて給水するも腐敗してしまつた。それにしても周囲にパパイヤの良い香り。醜

酵臭。甘酸っぱい良い香りでありました…。まだ煮物としてはいただいてません。今年ダメなら来年。それもダメなら再来年、食べますヨ。



8/22 区画の南にパパイヤが、這い上がる蔓物 1m20 cmほどに育つ、脇芽は花芽か？

菜園の南側から野菜たちの状況を報告いたしますと、角材の土留に沿ってニラ列。混植(混播)の葉物野菜。

サヤエンドウの支柱とトマトの雨除けに使った支柱の下に、野菜残差(刈り取った蔓など)。「糠」を振る。厚板を載せる。その隣の列にミニトマト、大玉トマトのステーキハウス、パパイヤ、ミニトマト。

中央の作業路。その北側に万願寺トウガラシ、ナスとパパイヤ、トウガラシの畝

キュウリは終わりにして空地列。その北側にサトイモ。日陰になる東西列にセロリとショウガ。その後ろ列にオカワカメ(雲南百薬草)。オカワカメは、霜が降りるまで収穫できる。

菜園の北、区道に沿って動物たちの給水のためのコンテナを置く。食用姫蓮根、クワイ、セリ、空心菜、マツバモ。メダカも。ヒメカワホネも植えている。空地になったところに厚板を置き、仮通路とする。



7/26 農園 58 区画の北側に、飛来する動物たちの水飲み場を置く アブ、ハチ、トンボが…

台湾付近に停滞していた大型台風と四国沖。更に小笠原の豆台風が大雨をもたらす。河川の排水能力を越す雨量で、各地で氾濫が相次ぐ。東京の大気も生暖かく、じっとりとする。夜温 31℃。と思うと、22℃の日が3日も続く。甲子園の試合が延期される。夏休み中に終わることが出来るか気遣わ

れる。梅雨末期の気圧配置似にて危険な空模様。地球温暖化のもたらす現象であります。氷河の消滅で大気圏に水分が充満しているので止むをえまい。

ジャボチカバ大収穫

スイカ 甘い



ジャボチカバの花

極甘トマト

ビルベリー(クワ)

我が家の小庭で採れた枇杷、ヤマモモ、ビルベリー(くわ科)等を植えている。鉢植えで、ジャボチカバ(熱帯小果樹)を収穫する。父が好きであった庭木は全部やめまして、果樹を植えている。幸い南側は姪の洋子ちゃんが相続しました。2階建てのアパートを経営している。建物を少し南に寄せていただいております。そこに温州ミカン、ネーブル系のスプリングアーレイ、ウメ、アンズを植えてあります。菜園の方もジャングル化していると報告しましたが、小庭もジャングル化。困ったもんだ

昭和21年6月、荻窪の井口運輸の大車。馬に牽かせて、千代田区飯田橋の諸橋さん宅から引っ越す。新宿。青梅街道を延々と。吉祥寺通りを北に武蔵関。夕方になると蛍が舞っていた。上石神井北にも分店があった。

子供たちの健康を考えて、S13年に父が南大泉に農地を買う。都立武蔵関公園の開園の頃のことです。月1~2回ぐらいで、九段下⇒高田馬場⇒武蔵関へピクニックに。下落合の妙正寺川(林芙美子氏邸の坂下)では、布を晒す。沿線周囲は、田圃。水田。畑。

疎開先として大泉に住宅を建てていたならば、大変でした。空爆にあい、1/3がすっ飛ぶ。10人家族でした。多分生き残ったのは、疎開先に居いた3女の光子、4女良子、と5女の幸子の3人ぐらいでしょう。畑が赤土の小山と穴。

米軍機が立川と所沢の飛行場、富士重工の零戦工場を空爆しての帰り道、石神井川に沿って捨てた爆弾だった。私たちは、諸橋さんのお宅に居りましたので、家族全員が助かった。恐ろしい大穴。

小庭に栗が2本植えてあります。栗の実が落ち始めました。毎年1升ほど取れますので、茹でていただいています。栗は強勢な樹木でありまして、周囲の植物が弱ります。西中で、テニスの指導員だった野田(造園業)氏に、2本とも切ってもらうことにしました。今年で最後の焼き栗を食おう。群馬の「キノコ大貫菌茸」で、駒菌を仕入れて、シイタケとクリタケを作ろう。15年ぶりのシイタケ作りをやってみよう。ポトポトと落ちるイガの音も楽しい。25年ぶりのシイタケ作りをやってみよう。

それにしても我が家の小庭は、盆栽状態であります。ジャングルであります。このジャングルで、目減りし始めた「酸素」を補充しているヨ。

来年からは栗の落ち葉での「腐葉土」は作れなくなる。少々寂しくなる。10月に切って、太枝を干す。2月に植菌をする。



4/18 栗の葉の落ち葉

カリンの落ちた実・葉

8/26 二度目の夜温 32℃。小窓に置いたミニ扇風機を回すと 30 度に下がる。日中は 36℃にもなると、NHKラジオからの警報。今日も「酷暑」になりそうだ。27・28 続いて 32℃の熱帯夜。熱帯植物たちは喜ぶ。



8/2 夏空が続く手前はオカワカメ

7/11 梅干し大の雹が降る

先日、朝日新聞の山田記者に 100 号特集を送りました。2017/12/29(金)の東京版に手作りのこの「農園便り」を取り上げていただきました。100 号まで続けられた感謝の気持ちからお送りしました。更に励ましをいただきました。

現在朝日和歌山総局のデスクの要職をなされておられるとのことであらう。元はと言えば、神保町の農文協の新井店長の紹介に始まったことでもあります。合わせて大感謝でございます。練馬区の立野町にあった農文協図書館、司書の金野さんとのお付き合いが、始めの初めでありました。世の中と言うものはヒヨンな物でありますね …… 。 T